
1. 2009年3月期第3四半期決算について

2. 2009年3月期業績見通し

2009年3月期 通期連結業績予想修正のポイント

- **証券業を中心とした金融業のIT投資マインドは更に悪化・長期化する見通し**

- **特に新規開発案件についても、計画変更による規模の縮小や、対応時期の延期などが顕在化**

- **コストコントロール活動を継続し、利益確保を目指す**

- **経費や外部委託費をコントロールし、減益幅の縮小に努める**

売上高＋連結受注残高の進捗

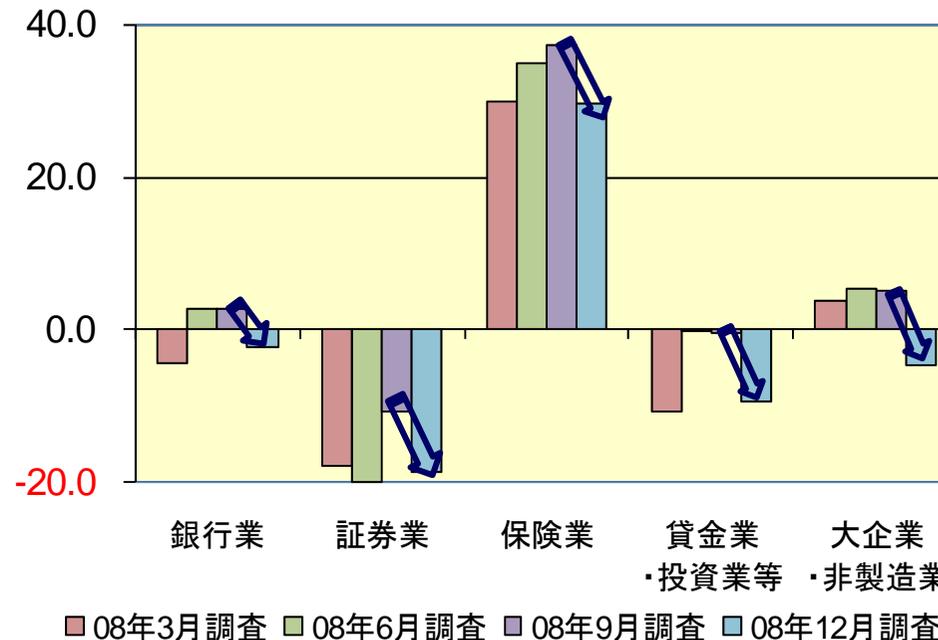
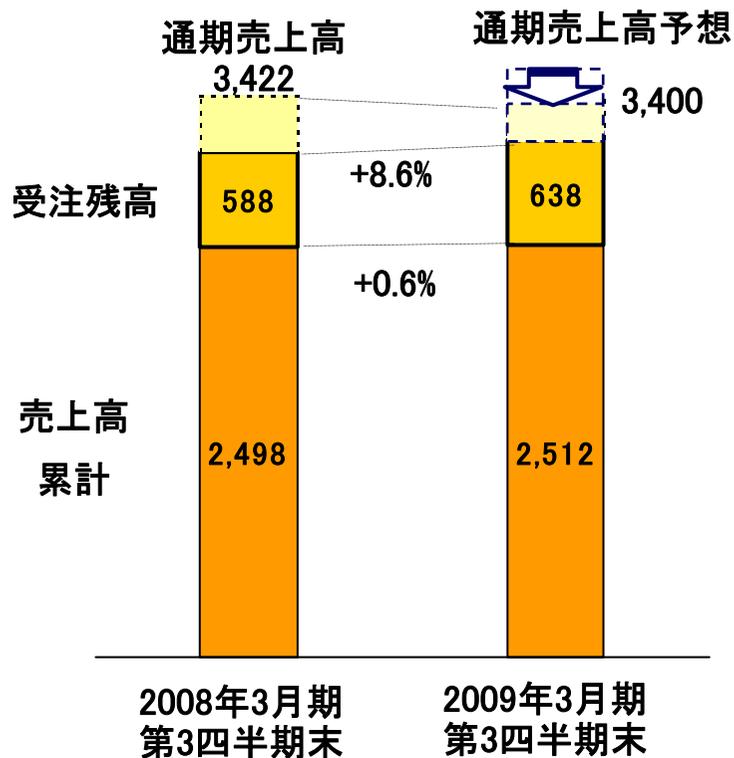
➤ 3Qまではほぼ業績予想通り推移しているものの、4Qの受注環境は厳しさが増している

売上高累計＋受注残高(当期分)

2009年3月期ソフトウェア投資額(計画)の推移

(単位:億円)

(前年比増加率(%))



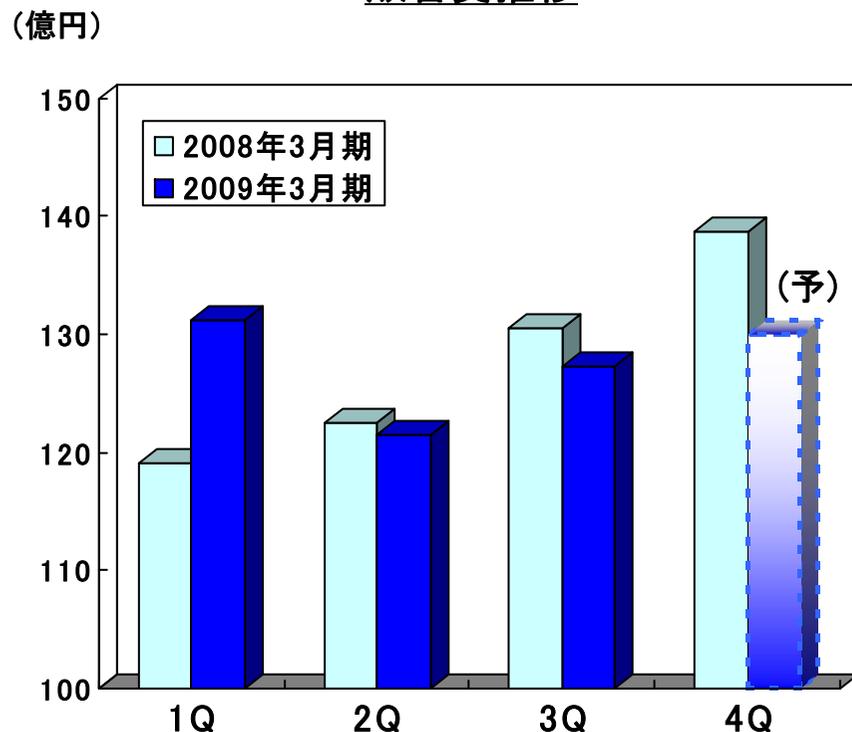
(出所)日銀短観よりNRI作成

コストコントロールの取り組みと今後の見通し

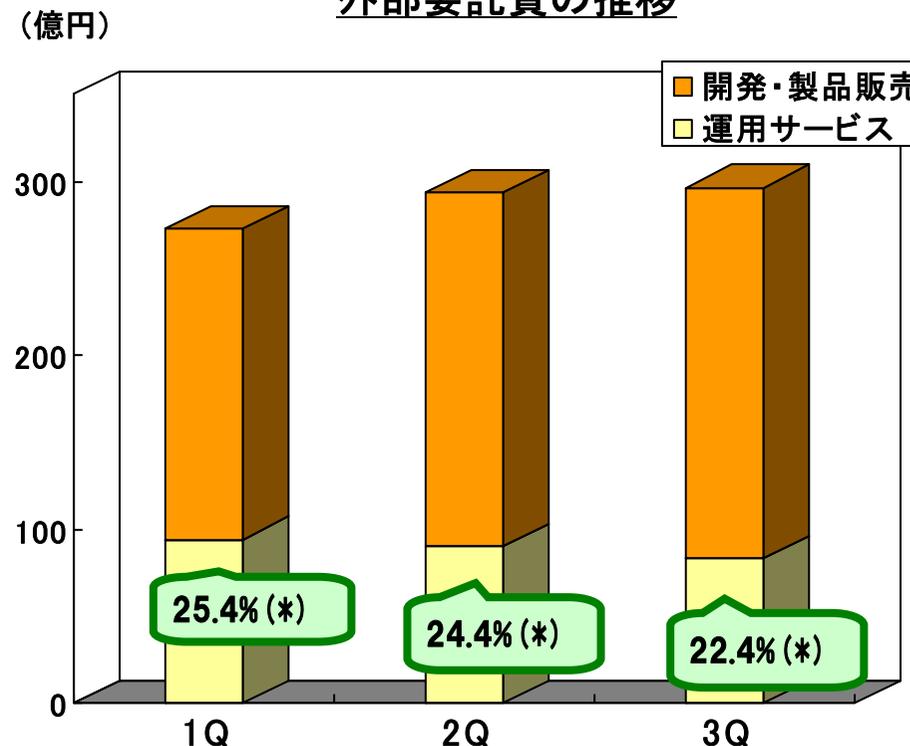
➤ 販管費コントロールの取り組みの成果が出始め、今後も継続・強化

- 研究開発は、質をコントロールしながら精査し実施
- 外部委託費は、運用で改善が見られたものの、もう一段のコントロールに努める

販管費推移



外部委託費の推移



(注*) 運用サービスの売上高に対する外部委託費率

2009年3月期 通期連結業績予想

(億円)

	2008年3月期 (実績)	2009年3月期 (1/29予想)	前期比 増減額	増減率	2009年3月期 (10/24予想)	前回予想差
売上高	3,422	3,400	△22	△0.7%	3,500	△100
営業利益	526	480	△46	△8.9%	480	-
営業利益率	15.4%	14.1%	△1.3P	-	13.7%	+0.4P
経常利益	555	500	△55	△9.9%	500	-
当期純利益	281	285	+3	+1.2%	285	-
1株当たり当期純利益	¥138.52	¥145.77	+¥7.26	+5.2%	¥145.40	+¥0.37

3Q累計実績と、通期の業績見通し

➤ 4Qは、新規開発案件への取り組みによる効率低下、新規営業への注力、環境悪化による稼働率低下等を見込む

(億円)

		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2006年3月期	売上高	606	718	668	862	2,855
	営業利益	62	101	83	116	364
	営業利益率	10.3%	14.2%	12.4%	13.6%	12.8%
2007年3月期	売上高	683	780	759	1,001	3,225
	営業利益	82	126	121	109	438
	営業利益率	12.0%	16.2%	15.9%	10.9%	13.6%
2008年3月期	売上高	774	876	846	924	3,422
	営業利益	107	166	117	134	526
	営業利益率	13.9%	19.0%	13.9%	14.6%	15.4%
2009年3月期	売上高	794	857	859	887	3,400
	営業利益	98	138	136	106	480
	営業利益率	12.4%	16.2%	15.8%	12.0%	14.1%

2009年3月期 業種別連結売上予想

(億円)

	2008年3月期 通期(実績)	2009年3月期 (1/29予想)	前期比 増減額	増減率	2009年3月期 (10/24予想)	前回予想差
証券業	1,521	1,300	△221	△14.6%	1,360	△60
保険業	308	500	+191	+62.1%	480	+20
銀行業	254	260	+5	+2.1%	270	△10
その他金融業	274	290	+15	+5.5%	310	△20
金融サービス業	2,359	2,350	△9	△0.4%	2,420	△70
流通業	445	430	△15	△3.5%	440	△10
その他産業等	617	620	+2	+0.4%	640	△20
合計	3,422	3,400	△22	△0.7%	3,500	△100

2009年3月期 品目別連結売上予想

(億円)

	2008年3月期 (実績)	2009年3月期 (1/29予想)	前期比		2009年3月期 (10/24予想)	前回予想差
			増減額	増減率		
コンサルティングサービス	303	330	+26	+8.8%	350	△20
開発・製品販売	1,501	1,450	△51	△3.4%	1,480	△30
運用サービス	1,408	1,490	+81	+5.8%	1,500	△10
商品販売	209	130	△79	△37.8%	170	△40
ITソリューションサービス	3,119	3,070	△49	△1.6%	3,150	△80
合 計	3,422	3,400	△22	△0.7%	3,500	△100

NRIから見た業種毎の動向、中期的見通し

➤ 短期的には、顧客のIT投資の抑制傾向が強く、事業環境は悪化

➤ 守りの中にも攻めのニーズはある

システムコスト削減（含むアウトソース）

基幹系システムの再構築 …

事業分野	短期見通し ('08~'09年度)	中期的見通し
証券	×	○
保険	○	△
銀行	△	○
その他金融	△	○
流通	△	△
その他産業等	○	○

-
- ・本資料は、2009年3月期第3四半期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
 - ・本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。